

# いぼん

No.12 2014. 5. 1

入間市障害者相談支援センター いぼん  
 入間市障害者就労支援センター  
 入間市豊岡1-16-1 市役所内  
 TEL 04-2901-7088

障害者就労支援センターいぼん

テーマ：入間市の障害者雇用

## はたサポ始まる(入間市障害者就労推進連絡協議会)

「魅力ある入間市にしたいですね！皆で集まって“入間市の障害者雇用”をテーマに気楽にまじめな話をしましょう！」ということで始まったオフサイトミーティング。を引き継ぐ形で通称：はたサポ（正式名：入間市障害者就労推進連絡協議会、愛称：はたらこサポーターの会）が入間市障害者自立支援協議会しごと部会主催で5月から始まります。

今後の取り組みとしては、前号でご紹介した通り〈企業による施設見学会や施設職員の企業見学会〉〈ジョブサポーター（仮称ーボランティアによる就労支援）などの養成〉〈市役所での障害者雇用の拡大の働きかけ〉〈就職している人が退社後気軽に寄れるサロンの設置検討〉などがあり、とりわけ〈精神障害者の雇用に対する理解や拡大〉に対して取り組んでいく必要がある、ということが上がっています。

5月の第1回はたサポで会長、副会長を選任し、いよいよスタートとなります。すでに上がっている課題に対して、また今後議論される新たな課題に対しても具体化する必要があります。どのように進めていくかしごと部会と連携し、就労支援センターも取り組んでいく予定です。

### 就労支援 実績数(H26年3月末まで)

	登録者数	就職者(※)	相談件数 (平成25年度)	1日あたりの相談・支援件数
人数	197名	123名	6167件	平均25.19名

※就職者はすでに就労している方で、就労継続のための支援を希望する方も含みます

## 就労支援センター説明会のお知らせ

就労支援センターいぼんを初めて利用される方を対象に説明会を実施しています！説明会ではりぼんの概要や、実際にどんな支援をしているのかをご紹介します。みなさんに「りぼん」の事を理解してもらい、納得してもらったらその場で登録の手続きを行い、初回の面談日を決めます。

毎月 第2・4木曜日  
 13:30～14:30  
 予約制ですのでまずは「りぼん」にご連絡下さい



# 就職者インタビュー③

障害者就労支援センターりぼん

～大好評シリーズ第③弾～

今回は武蔵工業団地にあるフジパン株式会社で  
働いているお二人にインタビュー！



お名前：佐野祐葵くん、野中三緒さん  
会社名：フジパン株式会社武蔵工場  
仕事内容：佐野祐葵くん（パンの整形・焼き作業など）  
野中三緒さん（冷凍パンの検品・箱づめなど）

### Q:お仕事をされていて楽しい事、大変な事はなんですか？

- 焼けたパンを冷ますクーリング作業は楽しいです！大変な事は長い時間立っているのが辛い事と、重い物を持つ事です。夏は暑くてもっと大変です(佐野くん)
- 大変です…。特に箱詰め作業でラインの流れが速くて追いつけない時があります。でも検品作業は得意で会社の人に褒められます!(野中さん)

### Q:入社歴とお仕事を長く続ける為に何か努力している事を教えてください

- 入社して9年です。健康に気をつけ、ライン長さんの話を聞いて仕事を真面目にしています!あと、お金も貯めています(佐野くん)
- 入社して丸4年になります。お仕事を休まないために体調管理をしっかりしています!家に帰ったら必ずうがいや手洗いをし、繁忙期は特に気をつかいます(野中さん)

### Q:お休みの日は何をして過ごしているんですか？

- 鉄道に乗って色々出掛けたり、写真を撮ったりしています(佐野くん)
- 買い物に行ったり友達とお茶会をしています!これが楽しみでお仕事頑張れます(野中さん)

### Q:これから就職を目指している人に一言お願いします

- 頑張ってください!(佐野くん)
- 一般企業は甘くない。でも色々なチャレンジをすれば心は疲れちゃうけど強くなるから頑張ってください。辛い時は周りの人に相談すると解決出来ると思います!(野中さん)

会社からとても評判の良いお二人☆これからもがんばってください!

## 第4回りぼん杯ボーリング大会 ★★★★★



2月2日(日)にサイオスポウルにて第4回りぼん杯ボーリング大会が行われました♪  
総勢25名の参加者からプロ級のスコアを出した男性が1位をとり、優勝トロフィーに名を刻みました!  
豪華?な景品も用意したのでみなさん喜んでくれました(^)夏の余暇活動は日帰り旅行になるかも!?

新  
スタッフ紹介

青木 弘子 (H26.4～勤務) 東京都出身 おとめ座  
共に悩み一緒に考え、共に喜び一緒に歩んでいきたいと思っております  
よろしくお願いします!



## 障害者相談支援センターりぼん

# 平成25年度入間市障害者自立支援協議会・ 専門部会の活動をご報告します。

### くらし部会

くらし部会では、入間市に住む障害のある人の福祉・教育・保健等の関係機関の方々をお呼びして、スキルアップを図るとともに、障害のある人の生涯にわたる地域生活支援の実現に向けて、しょうがいネットワーク会議を開催しています。

H25年度は高齢者福祉の関係機関にも呼びかけをして、介護保険や障害福祉サービスの仕組み等や実践報告などを計2回開催しました。誰もが暮らしやすい入間市をつくるために、役割や制度は違っても、関係機関がつながっていくことが大切であることを共有しました。

26年度は、それらの連携を土台にして、実践の質の向上を目指していけるような取り組みを検討したいと考えています。



### しごと部会

障害があっても“はたらく”事を通して社会参加出来る様、就労支援ネットワークづくりと市民参加のための部会活動を行っています。

平成25年度は

市内の様々な方々にご協力いただき、オフサイトミーティングを開催  
来年度以降の活動を目安を作りました。



### こども部会

H25年度のこども部会は実際のケースを提出して、そこから課題を検討しました。相談支援の一本化、縦断的支援と横のつながりの必要性、そして子どもの（医療行為のある子どもも対応できる）ショートステイなどが必要であると認識されました。

今後はこれらの課題を解決するために部会で検討していきます。



## 前号からの～障害のある方同士で結婚された吉田さんのお話の続きです



### 「入間市に住み始めて」vol.2

よしだ ようこ  
吉田 洋子

二人で住み始めた頃の私は、洗濯機に慣れていなかったので、彼が進んでやってくれました。

朝は彼が一人で起きて支度をして出勤し私はゆっくり寝かせてもらいました。彼は太り気味なので代謝を良くするために、しょうがととろろ昆布を良く使います。くるみも良いと聞いています。彼はサツマイモが苦手なので、りんごと煮たらよるこんで食べてくれました。

姑の理解があり、嫁いってから現在まで何回か千葉の実家に帰って手伝いをしています。洋ランなどの手入れをしています。「八十八夜の別れ霜」まではゆだんできません。実家は300年続いたしょうゆ工場で私の手伝いを今でも必要としています。私が留守の時困らないように姑の協力は今も続いています。

市営住宅に入って二年目の春になり自治会の役員になり、広報を配布することを一年間つとめます。

これからもりぼんの支援を受けて一生涯勉強だとおもいます。

完



※「別れ霜」※

「りぼん」は、相談支援センターと就労支援センターが協力して発行しています。通常の支援活動でも、市役所3階の同じ部屋にあることで連携して支援を行っており、「りぼん」という名前も共通のものになっています。生活の困り事や仕事のことなど、一人の方の“生きる“ということでは切り離すことができません。そこで「りぼん」は、生活と就労の一体的な支援で皆さんのお役にたつよう努力しています。これからも「りぼん」をよろしくお願いします。